科目名	こどもの保健（演習）		担当教員	有　馬　祐　子		
			担当形態	単独		
テキスト	「夜眠る前に読むと心が「ほっ」とする50の物語」三笠書房 「子育てハッピーアドバイスようこそ初孫の巻」一万年堂出版 「保育手帖」親業訓練協会刊	単位数 授業形態	1単位　　演習		開講時期	前期

講義概要

■到達目標

・「こどもの保健（講義）Ⅰ、Ⅱ」での学習をふまえて、こどもの健康と安全を守る為の正しい知識と技術を習得し、実施できる。
・保育活動が安全に行えるように、こどもの環境を整えること、健康状態を把握しサポートすることについて学習し、その方法について説明できる。

■授業の概要

・こどもの特徴を理解し、日々の保育の中での事故、疾病の予防、応急処置及び災害時の対応について学習する。
・こどもにとって健全な成長・発達ができる為の環境調整について学習し、自分自身の健康の自己管理能力が向上できることを目指す。
・ディスカッション、発表も取り入れ、学習を深めていく。

■授業計画

第1回　オリエンテーション　こどもを観る－環境・保護者
第2回　こどもの健康観察
第3回　保健活動の計画と評価
第4回　アレルギー疾患
第5回　応急処置①
第6回　応急処置②
第7回　疾病予防と適切な対応①
第8回　疾病予防と適切な対応②
第9回　疾病予防と適切な対応③
第10回　心と身体の健康問題①　コミュニケーション技術
第11回　心と身体の健康問題②　オムツはずれ
第12回　こどもの皮膚のケア
第13回　こどもの食生活・歯のケア
第14回　事故防止及び安全管理①
第15回　事故防止及び安全管理②

■準備学習

・授業時に与えられた課題は、次回授業時までに必ず内容を把握すること。
・授業の記録は、時々点検する予定なので、提出できるノートを用意し、記録の整理をしておくこと。

■評価方法

・授業での取り組み（ディスカッションへの積極的な取り組み、発言内容）　― 10%
・授業でのワークシート　― 50%
・レポート　― 40%
未提出の課題がある場合は単位を認定しない。

参考文献	「新保育士養成講座第7巻子どもの保健」全国社会福祉協議会 「子育てハッピーアドバイス知っててよかった小児科の巻」1万年堂出版 「あたりまえだけどとても大切なこと」草思社 その他、授業中に適宜示す。	特記事項	・授業時には必要なものを整頓し、片づけるべき道具はしまうこと。 ・課題の提出においては、書式、提出期日を守ること。 ・A4サイズのレポート用紙を準備すること。 ・「こどもの保健（講義）Ⅰ」「こどもの保健（講義）Ⅱ」の単位を修得出来ていない場合履修出来ません。 【課題等へのフィードバック方法】 レポートには、コメントをして返却します。
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修	幼	
		保	保育の対象の理解に関する科目